

家庭数

2020年12月25日

PTA 会員の皆様

国立第二中学校 PTA

会 長 新堂 由美

地区担当代表 山崎・鈴木

地区交流会のお知らせ

歳末ご多忙の折、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

今年度の地区交流会ですが、コロナ過の状況を鑑み中止することといたしました。

そこで他に何か発信できないかと考えたところ、乳がんを経験した役員から発症から治療までの経緯を聞くことができました。とても興味深く検診の大切さを改めて理解しました。体験記を通して保護者のみなさまに検診を受けていただくきっかけになればと思い、このような形で発信することになりましたので、お読みいただければ幸いです。

敬具

今年度の新たな試みに関し、今後の活動の参考とするため、下記アンケートにもご協力よろしく
お願いいたします。1月15日（金）までに担任の先生へご提出ください。

国立第二中学校のホームページのPTAの箇所にも同じ内容が掲載されております。

こちらでもアンケート回答可能ですので、よろしくお願いいたします。



国立二中HP

-----きりとり-----

- ① 今までに、検診を受けたことはありますか？ はい・いいえ
- ② 今回の記事を読んで、検診を受けたいと思いましたか？
はい・いいえ

最後に、今回の企画に関してのご意見・ご感想などありましたら、ご記入ください。

乳癌を経験して…

～乳癌が見つかったきっかけ～

小林麻央さんの闘病ブログをよく読んでいて、入浴中になんとか自分で乳房を触ってみるとパチンコ玉くらいのしこりを発見。たまたま1カ月後に健康診断の予定があり、マンモグラフィーの検査も含まれていたので受診しました。

結果は『E：右乳腺腫瘍 疑』でした。

発見から検査までの1カ月間、悶々として待っている時間は生きた心地がしませんでした。

～病院探し～

検診結果がでたらまず最初にやる事は乳腺外科のある病院探しです。

検査は乳腺外科で行うので、乳腺外科のある病院が近場がないかをインターネットで検索してみました。乳腺外科のある病院は国立市内にはなく、片っ端から電話しました。

ちょうど小林麻央さんや北斗晶さんのブログで世間が騒がしかったこともあり、予約が出来ても2カ月先。少しでも早く受診したかったので、諦めずに探し続けた結果、飛び込みで診てくれる病院を発見しました。

～病院での検査～

健康診断結果に同封されていた紹介状を持って病院へ行き、超音波と腫瘍細胞を採取（細胞診）しました。

私の判定はクラスⅠ～Ⅴの中のどちらとも判定のつかないⅢのグレーだったので、組織診（生検）をして『ステージⅠ浸潤性乳癌』と診断されました。

その後、CT、MRI、血液検査をして、服薬がスタート。

～告知～

診断を受けた時は平然を装っていましたがやはり動揺は隠せず、後日主人と二人で先生に詳しい話を伺いにいきました。

病状の説明から手術の詳細、手術する病院の紹介など1時間くらいでしたが、恐らく一人では受け止めきれなかったと思います。余計な事を言わずに、ただ話しを一緒に聞いてくれた主人には感謝しています。

～手術～

通いやすく日帰り手術の出来る病院に転院して、1カ月半後に手術日が決定。手術は乳房温存術。局所麻酔にて約2時間で終了しました。手術中の痛みはありませんでしたが、患部を引っ張られたり、押されたりの感覚がありました。

～手術終了後（放射線）～

患部は内出血で黒くなり、腫れもありましたが、手術の2日後から仕事再開。痛みもありましたがサランを巻いて過ごし、2カ月後から放射線治療がスタート。放射線シミュレーションでは、患部の位置を正確に把握するために胸部全体にペンで線や数字をたくさん書かれました。放射線治療は週5日、合計27回。照射時間5分の為に毎日通いました。照射中は痛くもかゆくもないのですが、全ての照射が終了した時には軽いやけど状態で赤くヒリヒリ感がしばらく残るくらいで治療は終了です。私はこの程度で済みましたが、乳房全摘、再建、抗がん剤投与の方々はもっともっと辛く大変な思いをされていると思います。

～周りの環境・職場～

当時9歳だった我が子には癌の事は言わず、自分の両親、義理の両親にはありのままを話しました。職場にも検査の時点で全て話しをしておきました。職場の方々のご理解ご協力のおかげで、仕事に穴をあける事なく通院する事ができました。

～医療費について～

初めて乳腺外科受診、手術～放射線終了まで、かかった医療費は総額30万円。その中で放射線は1回5000円かかりました。保険に加入して初めて良かったと思いました。



～現在～

最初の病院に戻り、定期検査と毎日の服薬（5年～10年続きます）で日々を健康に過ごしております

～乳癌になって思うこと～

自分でしこり発見から診断名が下るまでの2カ月半、その間は誰にも相談できず、ひたすらネット検索し、自問自答する苦しい時間でした。

私は血縁者には癌発症者がいなかったので癌とは無縁だと思い込んでいましたが、“自分は癌にならない”という根拠のない自信は崩れました。

まさに『まさか、自分が……』でした。

一生のうち癌は2人に1人。乳がんは11人に1人。

少ないですが、男性でも発症します。

癌の中でも乳癌は自分で発見できる可能性のある数少ない癌のひとつです。

まずはセルフチェックを！

そして今検診を受けようか悩んでいる方がいるのなら、迷わず受診されることを願います。

今回このように体験記を書かせて頂き、これを機に我が子にもきちんと説明し、理解を得る事ができ感謝しています。ありがとうございました。

お話しを伺い、私たちが重要だと思った事、疑問や不安に思った事をまとめてみました。自身の体の事だけでなく、家族の健康についてなどなど…何かのきっかけにして頂けると幸いです。

乳がんとは…？

9人に1人が発症している乳がん。
どんな病気なのか…
まずは基本を知ろう。



乳がんとは？

月に一度でOK！ セルフチェックをしよう！

乳がんは自分で発見できるがんです。
早期発見であれば90%以上が治っています。
セルフチェックは早期発見の
第一歩となります。
セルフチェックを試みよう。



セルフチェック方法

検診を受けに行こう！

日本人は検診率が他国に比べて低く、
年々死亡率は増加傾向にあります。
40歳を過ぎたら2年に1度
検診受けましょう！
国立市の助成を受ければ
2000円で受けられます。



乳がん検診

検診で異常が見つかったら…

結果が「要精密検査」等であったとしても、
乳がんを指摘するものではありません。
治療が必要な状態なのか詳しい検査を
行うため、乳腺外科のある病院で検査
を受けましょう。
悪性所見がなければ経過観察となること
もあります。

家族ががん宣告… どうする??

2人に1人はガンになる時代…
他人事ではありません。
家族はどうサポートして
あげればいいのか？



家族のサポート

詳しくはこちら↓↓↓

【乳がんについて】 【がん検診について】



ピンクリボン



国立市がん検診特集

最後までご覧いただきありがとうございました。
今後の活動の参考にさせて頂くため、
アンケートにご協力お願いいたします！

↓こちらからも回答可能です↓

